



人、ひとりひとりの心地良さ

特別養護老人ホームみちのく荘

まるめろ通信

[まるめろ通信/第79号]

発行日/2010年11月28日
発行/青森社会福祉振興団
みちのく荘 0175(23)1600
みちのく金谷デイ 0175(23)0771
城ヶ沢みちのく荘 0175(24)3163
脇野沢いこいの里 0175(31)5611
marumelo@michinokuso.or.jp

私の小径
こぎり

ショートステイはちょっとした旅行気分、昔の社員旅行を思い出すよ。

山上 ヤエさん(大正15年生まれ 83歳) むつ市大湊浜町
(城ヶ沢みちのく荘、訪問介護、金谷デイサービスまるめろ利用)

70歳頃から腰痛があつてあまり動けなくなつた。自分でも「何もできなくなつた。」と感じ、外に出るのもおっくうだつた。好きだつた庭いじりやバッチワークもやらなくなり、ただ家にばかりいるようになった。

日にちやさつき話したことで、すぐ忘れちゃうようになって、家族に同じことを何回も聞くもんだから、認知症が進むと心配したとしちゃん(長男の妻)が、デイサービスの利用を勧めた。初めは中央デイサービスに週2回、今は金谷デイまるめろへ週に6日は通つてい

る。デイへ出掛けることは私の生活の一部になつてい。毎朝の身支度がいい日課になつてい。城ヶ沢のショートステイは、月に2、3回週末に泊まつてい。何度も行つていから顔なじみがたくさんいて、安心して過ごせるよ。相部屋の人達とおしゃべりしたり、温泉風呂に浸かつたり、ちょっとした旅行気分。昔の社員旅行を思い出すんだ。

私は秋田生まれで、独身の頃は宮林署で働いてい。山に囲まれていて、小さい頃からよく山菜採りに行つたよ。夫とは24歳の時に結婚してむつへ来たんだけど、夫も山菜採りが好きで、むつで

もよく一緒に出掛けたもんだ。山を歩きながら夫といろんな話を、今でいえばデートだね。潮干狩りも大好きで、芦崎湾へは毎年家族みんなで行つた。今でも行きたいと思つよ。

むつでは病院の看護助手として働いた。若い頃の自慢は「ラッタッタ」原付バイクのこと。それに乗つて職場や山へよく出掛けた。当時はあまり乗つてい

る人がいなくて少し恥ずかしかつたけど、遅刻しそうな時には便利だつたよ。息子夫婦が共働きになつてからは、孫2人の面倒をみていた。孫がかわいく

て、こっそりお小遣いをあげていたつ。今は、青森と埼玉から孫やひ孫が来て一緒に遊ぶのが楽しくてしようがない。二人の孫は帰つてくると必ず仏様に挨拶をするんだ。よくできた自慢の孫達だよ。もう一つの自慢は息子の嫁のとしちゃん。本当の親子みたいに仲良しなんだよ。無口な息子も優しいけど、一番の頼りはやっぱりとしちゃんだね。(談)

【ご家族より】平成20年4月、自宅で脳出血を起して倒れました。入院生活リハビリを乗り越え、家へ帰ることができました。母が元気に笑つて過ごせるよう、これからも応援したいと思つてい。



「いってきます。」と山上さんの元気な声が聞こえてきそうなショート利用前のお迎え写真です。

みちのく金谷総合デイサービスセンターは、一日の過ごし方を利用者ご自身で決めることができます。

一日のスケジュールに映画鑑賞を加えてみませんか？

みちのく金谷総合デイサービスセンター内には映画館があります。

365日毎日放映、200インチの大スクリーンでお楽しみいただけます。

昔懐かしの映画から最新作の映画まで多種多様にご用意、数日おきに上映プログラムを変更してい。

白黒映画は青春時代にタイムスリップしたように当時の青春が思い出されるかもしれません。

お一人でじっくり鑑賞される方、デイサービス利用中のあいた時間に鑑賞される方など自由なスタイルでご利用いただけます。



青春時代へタイムスリップ！
みちのく金谷総合デイサービスセンター

イチオシ！ シリーズ③

私たちが提供しているサービスには、「え？こんなことできるの？」と思うようなことがたくさんあります。「イチオシ」シリーズでさまざまなサービスを紹介し。

やさしい街づくりを応援してい。



10月28日、郵便局局長婦人会様より
ありがとうございました

オルが寄贈されまし。お礼の品をいただきました。誠にありがとうございました。

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社
ニツシヨク
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話(0175) 22-7222
FAX(0175) 22-7081

文化芸術はもちろんの事さまざまなシーンでのご利用に対応してあります。お気軽にお問合せ下さい。

下北文化会館
むつ市金谷1-10-1
TEL 22-8411
FAX 22-8414
HP http://shimobun.com

この街と、生きていく。

あなたとまちにフェイスフェイス
Face to Face
青い森しんきん

ムルヤデイの日記



出身地 インドネシア共和国 ガルト市 (ジャカルタ市から約3時間)
特技 サッカー、ドラム

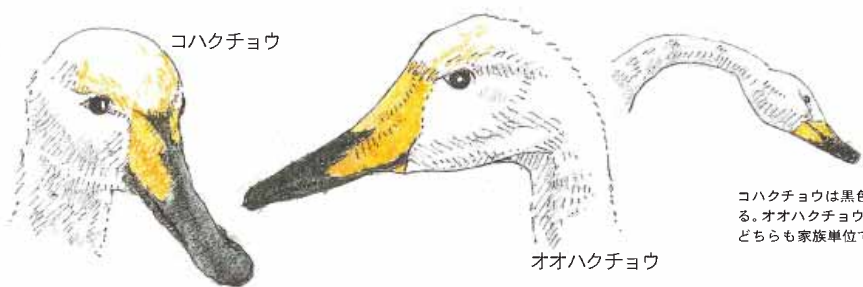
私と妻と九月の間ぐらい会うこ
とがございせんざしだが、九月
と妻が一人でござい来ました。
山口から大阪までは新幹線に乗
り、青森までは寝台列車に乗
て日本海を見てきたと話してい
ました。私達は近所の高森さん
夫妻と一緒に、おつの有名人所
へ行きました。釜臥山の上まで
行きました。大きな機械がある所を見
ました。恐山で長生ぎの水を食
んだあと、尻屋崎灯台に遊びに
行きました。ボンサーブに行っ
てみんなぞソフトクリームを食
べました。私と妻も今までど
一番おいしくてびっくりしまし
た。今、妻が山口県に戻ってし
まって寂しい。家族と離れるの
はつらい体験ですが、介護福祉
士に合格し、妻と日本を暮らせ
るよりに頑張りたいです。

●ムルヤデイさんの自筆です。

しもきた彩

四季の彩りの中に隠れている小さな生命、それぞれの個性。違いや名前を知るだけで、なぜか新しい友人を見つけた気持ちになります。

小白鳥 (ガンカモ科・L120cm)
大白鳥 (ガンカモ科・L140cm)



コハクチョウはオオハクチョウに比べて頸が短く寸詰りに見える。ただし、頸が短めのもの、長めのもの2つのタイプがいて、越冬地が異なることが多いと言われる。コハクチョウ、オオハクチョウの見分ける方法は、くちばしの黄色と黒色のつき方によると分かりやすい。
コハクチョウは黒色が大きく、黄色の先端部分が丸みを帯びている。黒色が額まで達していることがある。オオハクチョウの黄色部分は先端が尖がる。県内ではオオハクチョウが圧倒的に多い。どちらも家族単位で行動し、全体に灰色で飛来した幼鳥が、北帰行に向けて徐々に体が白く大きくなる。

第27回 みちのく福祉公開講座 「ハンセン病人として生まれながら」

平成22年9月10日、みちのく中央デイサービスセンター内で、みちのく福祉公開講座が開催されました。「ハンセン病 人として生まれながら」と題して、国立療養所 松丘保養園 入所者自治会会長の石川勝夫氏をお招きして、ハンセン病の歴史や課題についてお話いただきました。

ハンセン病はかつて「らい」という病名で呼ばれていました。「らい菌」を病原菌とする感染症で、抹消知覚神経が冒され、皮膚や臓器も冒されます。後遺症として外見に変化が生じる感染症でした。適切な治療法が確立されていなかった頃は、「奇病」や「宗教的な罪をイメージさせる病」として患者本人の「人権」を否定した問題が、顕著になった有名な病でもあります。



実際に使用されていた園内通貨

そして、完治する治療法が確立した現代でも、差別や偏見が残っている現状を説明され、「ハンセン病だけではなく、様々な差別問題が発生した時、正しい知識を持って差別や偏見に対抗する力を持つて欲しい。それがこのハンセン病を通して学べることだと思っています。」と話され、その払拭を目的に活動を今後も実施されていると話されていました。

差別や偏見は、見えるものではないため、その問題も浮上しにくいかも知れません。しかし、「こういった問題を『知ろう』とする勇氣が必要だと講演を伺い感じました。

福祉なんでもレシビ

第3回 寒さ対策編
冬が一步一步近づいています。寒い冬を、快適安全に過ごすグッズを紹介いたします。

①杖用アイスピック
滑りやすい雪道や凍った路面にツメが刺さり、杖の滑りを防ぐグッズです。杖に取り付けただま折りましたむことが出来るので、アイスピックを使用しない時も外す必要はありません。



※取り付けはシルバーサービスで行っています。

②安寿家具調ポータブルトイレレセレクトシリーズ
冬は布団と室温の温度差から、体調の急変もきたす可能性があります。家具調トイレは、暖房便座が付いているので、座り心地も「ヒヤッ」としません。シックなデザインでそのまま居室に置いていただいても違和感が無く、快適脱臭機能を内蔵しているのにおい



③ルシエルシェ 高機能ブランケット
「難燃性」「制菌作用」「静電気防止」を兼ね備えており、肩掛け、膝掛け、毛布としてご利用頂けます。寒さが増すこの時期にも、室内や室外で、快適な生活をお手伝い致します。



【商品・試供品のお問い合わせ】
(株)シルバーサービス 0175(23)9511

みちのく荘オンブズマン ミニエール活動報告

今年度4月〜8月までにミニエールより寄せられた情報「提供と施設の返信について一部ご紹介いたします。」

①ミニエールより「2階元町の避難口に5、6台の車椅子がありました。すみやかに片付けて下さい。火災などの場合危険ですので、避難口の確保をお願い致します。」
施設側の返信「避難口前に物を置かないように貼り紙をしました。日中、車椅子を使用していない時は、本人の居室又はリビングの端に置いてあります。夜間は車椅子を居室に置く」と転

倒の危険性があり、置くことが出来ない利用者に関しては居室とは別に置く場所を決め昼夜とも避難口を確保出来るようにしました。」

②ミニエールより「室温が冷房28度、湿度26度設定とありましたが、今日、2F居室がムツとする暑さでした。湿度計は27度で規程内でしたが、湿度との関係は考慮されているのでしょうか。」

施設側の返信「常に温度計・湿度計を見て管理していますが、今の時期は冷房だけではかたつとした状態になりつつあります。居室に関しては普段リビングで過ごすことが多く、人の居室は窓を開け、エアコンはほとんど使用していません。長い時間居室で過ごすときには温・湿度計を確認しながらエアコンを使用し管理しています。今後はドライ機能も活かしながら管理して様子を見ていき、不十分であれば再検討したいと思います。」

③ミニエールより「利用者の方がナースコールをしきりに鳴らしていました。リビングに職員がいましたが他の居室から戻った職員に行かせていました。担当があるとは思いますが、先に気づいた職員が様子を伺いに行ったら良かったのではないのでしょうか。」

施設側の返信「最初の職員が対応しなかったのは、この利用者の方が排便困難な為、排便薬を挿入したという情報をその職員が把握しており、「排便が出たことを知らせてくれた」と予測を立て、その日排泄当番の職員に排泄介助をお願いしました。ナースコール対応をした職員というより近くにいるすぐ対応出来る職員にお願いするという考えが日頃からあったと思います。今後はナースコールの意味を再認識し、「ナースコールが鳴ったらすぐに対応する」ということを職員間で徹底していきたいと思っております。」

まるめる公文書館

シリーズ③ 訪問入浴車について

在宅で暮らしている高齢者や障がい者にとって、今ではすっかりお馴染みになっている在宅福祉サービスの一つとして「訪問入浴介護サービス」があります。

下北地域に初めてお目見えしたのが平成2年2月でした。日本テレビ24時間放送チャリティー委員会から寄贈された「訪問入浴車」を使用し、看護師1名、ヘルパー2名、オペレーター1名の合計4名1組のチームで当時のむつ市、川内町1市1町の範囲からスタートして満20年が経過しました。

事業開始当時、このサービスを実施していた他の積雪寒冷地域では冬期間(だいたい11月頃から翌年3月頃まで)は休止されている状況がほとんどでしたが、当法人としては当初から通年の実施を考えて、様々な準備態勢(ホースが凍結した場合のバーナーの用意、入浴車のポイラーで沸かした温水を家の中に設置した分割式の浴槽まで運ぶためのホースでできる玄関等の隙間を埋めるための発泡スチロールで製作した緩衝材など)を整えてサービス実施に当たりました。事業の拡大に伴い、日本テレビ24時間チャリティー委員会からはその後も合計4台の訪問入浴車の寄贈を受けましたが、2台目以降について、積雪寒冷地における道路事情から4WD車を要望したところ、日本初4WD仕様の訪問入浴車の誕生となりました。現在稼働中の訪問入浴車は、日本テレビ24時間チャリティー委員会からの寄贈車2台、日本財団からの寄贈車1台です。



やさしい街づくりを応援しています。

三井住友海上火災保険代理店 (株)ほけんやの成田
安心 信頼 笑顔
お気軽にご相談ください
むつ市新町28-17
TEL 33-2880 FAX 33-2881

エコ住宅・新築工事・リフォームなら
アフターと信頼の当社におまかせ!!
まっすらホーム
松浦一級建築設計事務所 (有)松浦建設
むつ市柳町4-12-25 TEL22-5809

快適な環境づくりのお手伝い
○介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修
株式会社 シルバーサービス
〒035-0033 むつ市横迎町2-9-13
TEL 0175-22-9511

全国老人福祉施設協議会主催
平成22年度 広報コンテスト広報誌部門
「まるめる通信」最優秀賞受賞
平成22年10月20日、全国老人福祉施設大会(北海道大会)において表彰式が行われました。さらなる福祉サービスの向上に励み、これからも内容の充実と読みやすい紙面作りを心がけていきます。読者ならびに地域のみなさま、今後とも一層のご支援よろしくお願ひ致します。